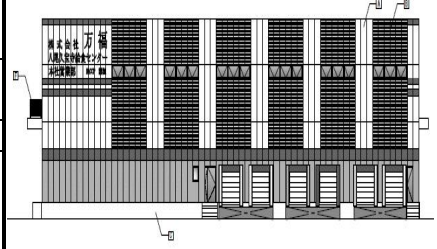


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) ㈱万福八尾久宝寺本社工場	階数	地上2F
建設地	大阪府八尾市洪川町1丁目	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	57人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年01月 予定	評価の実施日	2020年02月24日
敷地面積	2,047㎡	作成者	溝口 健一
建築面積	1,202㎡	確認日	2020年03月04日
延床面積	2,097㎡	確認者	鳩山誠志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ☆☆☆☆☆

30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

① 参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み 84% (46 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の 84%

④ 上記+ 84%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
音環境: 2.1	機能性: 2.0	生物環境: 2.0
温熱環境: 1.9	耐用性: 3.0	まちなみ: 2.0
光・視環境: 2.2	対応性: 3.1	地域性・地域環境: 2.0
空気質環境: 3.2		

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の: 5.0	水資源: 3.4	地球温暖化: 3.6
自然エネ: 3.0	非再生材料の: 3.0	地域環境: 3.0
設備システ: 3.4	汚染物質: 3.3	周辺環境: 3.0
効率的: 3.0		

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。</p> <p>ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>	特になし。
<p>Q1 室内環境</p> <p>建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍となっている。</p> <p>自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特になし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>[BP][BPIm] = 0.64</p> <p>[BE][BEIm] = 0.76</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物(参照値)に対して84%。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0018

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)株式会社万福八尾久宝寺本社工場新築工事					
		建設地	大阪府八尾市洪川町1丁目					
		用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★ ★ ☆ ☆ ☆			B-		
①	CO2削減	★ ★ ★ ★ ☆			4			
②	みどり・ヒート アイランド対策	★ ★ ☆ ☆ ☆			2			
③	建物の断熱性	★ ★ ★ ★ ★			5			
④	エネルギー削減	★ ★ ★ ☆ ☆			3			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.4	3	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								